平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月2日

上場会社名　アシックス商事株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　9814　URL　http://www.asics-trading.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 眞木　秀樹
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部　経理部長　(氏名) 大原　正博　TEL 078-795-2000
四半期報告書提出予定日　平成23年2月14日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	15,603	12.4	1,015	△7.0	841	△20.4	493	△21.2
22年3月期第3四半期	13,882	△7.9	1,091	2.4	1,057	8.7	626	22.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	60.62	—
22年3月期第3四半期	76.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	17,038	14,859	87.2	1,824.46
22年3月期	17,066	14,745	86.4	1,810.40

(参考) 自己資本　23年3月期第3四半期　14,859百万円　22年3月期　14,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
23年3月期	—	10.00	—		
23年3月期(予想)				10.00	20.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	8.8	950	△36.9	870	△45.6	500	△41.5	61.39

(注)当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他　（詳細は、【添付資料】P.4「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

新規　―社　（社名　　）、　除外　―社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	8,842,636株	22年3月期	8,842,636株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	697,990株	22年3月期	697,912株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	8,144,676株	22年3月期3Q	8,144,724株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

1.　当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
2.　その他の情報 …… 4
(1) 重要な子会社の異動の概要 …… 4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
3.　四半期連結財務諸表 …… 5
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 5
(2) 四半期連結損益計算書 …… 7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… 10
(5) セグメント情報 …… 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11

1.　当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円高や厳しい雇用情勢・所得環境が継続するなか、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの属するシューズ・スリッパ市場におきましても、デフレと気候変動の激しさが消費環境に影響を及ぼしており、厳しい状況で推移しております。

このような環境のなか、当社グループは、高収益体質の確立に向けて、ローコスト経営に徹してコスト削減に努めるとともに、生産体制の整備のため、生産委託先との関係強化を図り、品質、納期、コストの徹底管理に取り組んでおります。

さらに、市場や顧客のニーズに応えるため、消費者との接点である売場の確保を重点課題として取り組んでおり、商品力、訴求力、売場での表現力をアピールして市場の活性化に努めました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、156億387万円（前年同期比12.4％増）となりました。

事業の種類別の状況につきましては、国内シューズ事業においては、「タイゴン・レーザービームシリーズ」や「テクシーリュクス」などが価格以上の価値ある商品と評価を得ており、売場の活性化につながっておりますが、総じて売れ筋商品は限定的であり、売上高は、69億4,291万円（前年同期比9.7％減）となりました。

海外シューズ事業については、㈱アシックスとの連携強化が奏功して、引き続き好調に推移しており、25億6,212万円（前年同期比121.6％増）となり、シューズ事業全体の売上高は95億504万円（前年同期比7.5％増）となりました。

資材事業については、円高の影響により利益面では苦戦しているものの、受注は堅調に推移しており、売上高は30億7,930万円（前年同期比38.0％増）となりました。

スリッパ・日用品事業では、ライセンス商品の大幅増加に加えて主力取引先のＯＥＭ商品の取込み等により、売上高は30億1,952万円（前年同期比7.6％増）となりました。

利益につきましては、競争の激化と単価の下落から、国内シューズ事業の売上高の低下が全体の売上総利益率に影響しており、営業利益は10億1,503万円（前年同期比7.0％減）となりました。

また、デリバティブ評価損を含む為替差損が３億870万円発生しており、経常利益は８億4,198万円（前年同期比20.4％減）、四半期純利益は４億9,373万円（前年同期比21.2％減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、2,841万円減少し、170億3,829万円となりました。主な要因は、商品が１億3,954万円、流動資産のその他に含まれる繰延税金資産が9,888万円増加しましたが、現金及び預金が１億3,148万円、投資有価証券が１億326万円減少したこと等によるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、１億4,273万円減少し、21億7,874万円となりました。主な要因は、流動負債のその他に含まれるデリバティブ負債が３億6,136万円増加しましたが、買掛金及び支払手形が9,739万円、未払法人税等が２億5,197万円、流動負債のその他に含まれる未払金が3,582万円減少したこと等によるものであります。

当第３四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、１億1,432万円増加し、148億5,954万円となりました。主な要因は、株主資本が２億6,967万円増加しましたが、評価換算差額等が１億5,535万円減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の86.4％から87.2％となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、１億3,147万円減少し、62億9,612万円となりました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、9,878万円となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益が８億4,262万円、減価償却費が１億1,805万円あったこと等によるものであり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加が１億3,954万円、法人税等の支払が６億910万円あったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1,532万円となりました。

収入の主な内訳は、投資有価証券の売却による収入が１億278万円あったこと等によるものであり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出が2,587万円、無形固定資産の取得による支出が5,002万円、投資有価証券の取得による支出が2,156万円あったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、２億1,270万円となりました。

これは配当金の支払等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年３月期の連結業績予想につきましては、平成22年10月29日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2.　その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

会計処理基準に関する事項の変更

①資産除去債務に関する会計基準の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しておりますが、これによる影響はありません。

②企業結合に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号　平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号　平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　平成20年12月26日）を適用しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3.　四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,293,198	6,424,680
受取手形及び売掛金	4,212,792	4,206,565
有価証券	2,930	2,928
商品	1,203,699	1,064,152
その他	418,921	348,696
貸倒引当金	△42,400	△48,846
流動資産合計	12,089,142	11,998,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,356,353	1,429,574
土地	1,904,567	1,904,567
その他（純額）	98,014	116,165
有形固定資産合計	3,358,934	3,450,306
無形固定資産	104,500	70,975
投資その他の資産		
投資有価証券	613,274	716,539
その他	877,051	834,375
貸倒引当金	△4,612	△3,669
投資その他の資産合計	1,485,712	1,547,245
固定資産合計	4,949,147	5,068,527
資産合計	17,038,290	17,066,704

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	433,334	530,730
未払法人税等	62,233	314,207
賞与引当金	78,900	164,000
その他	1,045,919	769,066
流動負債合計	1,620,387	1,778,004
固定負債		
退職給付引当金	438,351	403,446
負ののれん	33,620	49,014
その他	86,390	91,018
固定負債合計	558,361	543,479
負債合計	2,178,748	2,321,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,112,744	3,112,744
資本剰余金	3,398,491	3,398,491
利益剰余金	11,035,643	10,765,888
自己株式	△727,485	△727,407
株主資本合計	16,819,394	16,549,715
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	23,430	29,915
繰延ヘッジ損益	△165,462	△16,590
土地再評価差額金	△1,817,820	△1,817,820
評価・換算差額等合計	△1,959,852	△1,804,495
純資産合計	14,859,541	14,745,220
負債純資産合計	17,038,290	17,066,704

(2) 四半期連結損益計算書

【第３四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）
売上高	13,882,285	15,603,873
売上原価	8,982,347	10,641,565
売上総利益	4,899,938	4,962,308
販売費及び一般管理費	3,808,928	3,947,269
営業利益	1,091,010	1,015,039
営業外収益		
業務受託手数料	40,668	90,259
受取地代家賃	19,512	12,232
保険解約返戻金	22,850	－
その他	51,980	58,493
営業外収益合計	135,010	160,984
営業外費用		
売上割引	14,223	13,399
為替差損	151,130	308,704
その他	3,472	11,936
営業外費用合計	168,825	334,041
経常利益	1,057,195	841,982
特別利益		
固定資産売却益	－	350
投資有価証券売却益	24,930	1,736
貸倒引当金戻入額	－	5,024
特別利益合計	24,930	7,111
特別損失		
固定資産売却損	－	3,705
固定資産除却損	2,083	2,762
投資有価証券売却損	6,841	－
投資有価証券評価損	16,956	－
特別損失合計	25,882	6,468
税金等調整前四半期純利益	1,056,244	842,624
法人税等	429,600	348,889
少数株主損益調整前四半期純利益	－	493,734
少数株主利益	－	－
四半期純利益	626,643	493,734

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,056,244	842,624
減価償却費	114,298	118,057
負ののれん償却額	△15,394	△15,394
貸倒引当金の増減額（△は減少）	188	△5,503
退職給付引当金の増減額（△は減少）	28,905	34,904
賞与引当金の増減額（△は減少）	△83,055	△85,099
受取利息及び受取配当金	△13,398	△16,900
支払利息	410	190
投資有価証券売却損益（△は益）	△18,089	△1,736
投資有価証券評価損益（△は益）	16,956	－
固定資産売却損益（△は益）	－	3,355
固定資産除却損	2,083	2,762
為替差損益（△は益）	2,140	2,241
売上債権の増減額（△は増加）	16,148	△5,688
たな卸資産の増減額（△は増加）	142,613	△139,546
その他の流動資産の増減額（△は増加）	228	△16,505
デリバティブ資産の増減額（△は増加）	108,640	85,825
その他の固定資産の増減額（△は増加）	△5,436	△2,638
仕入債務の増減額（△は減少）	△48,287	△97,396
その他の流動負債の増減額（△は減少）	△9,371	△45,913
デリバティブ負債の増減額（△は減少）	38,046	113,511
その他の固定負債の増減額（△は減少）	1,603	△3,883
未収消費税等の増減額（△は増加）	3,581	△34,257
未払消費税等の増減額（△は減少）	29,081	△40,542
その他	1,201	△2,149
小計	1,369,340	690,319
利息及び配当金の受取額	13,091	17,757
利息の支払額	△410	△190
法人税等の支払額	△828,563	△609,100
営業活動によるキャッシュ・フロー	553,458	98,784

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△200,000	－
定期預金の払戻による収入	300,000	－
投資有価証券の取得による支出	△79,320	△21,567
投資有価証券の売却による収入	186,750	102,787
子会社株式の取得による支出	△65,033	－
有形固定資産の取得による支出	△54,628	△25,879
有形固定資産の売却による収入	18,009	1,263
無形固定資産の取得による支出	△59,693	△50,022
貸付けによる支出	△3,800	△27,000
貸付金の回収による収入	2,424	3,204
出資金の回収による収入	－	1,030
その他	－	863
投資活動によるキャッシュ・フロー	44,707	△15,321
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	－	△77
配当金の支払額	△263,343	△212,624
財務活動によるキャッシュ・フロー	△263,343	△212,701
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,169	△2,241
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	332,652	△131,479
現金及び現金同等物の期首残高	5,069,708	6,427,609
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,402,360	6,296,129

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間(自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日)

	シューズ事業(千円)	資材事業(千円)	スリッパ・日用品事業(千円)	計(千円)	消去又は全社(千円)	連結(千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,843,756	2,231,710	2,806,818	13,882,285	—	13,882,285
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	31,623	31,623	(31,623)	—
計	8,843,756	2,231,710	2,838,442	13,913,908	(31,623)	13,882,285
営業利益	847,500	86,450	353,665	1,287,616	(196,606)	1,091,010

(注)　1　事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。
　　2　各事業の主な製品
　　(1) シューズ事業・・・・・・・スポーツシューズ、一般シューズ
　　(2) 資材事業・・・・・・・・・・靴用資材
　　(3) スリッパ・日用品事業・・・スリッパ・日用品

【所在地別セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間(自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日)

在外連結子会社及び重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第３四半期連結累計期間(自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日)

	アジア諸国	その他の地域	計
Ⅰ　海外売上高(千円)	2,191,870	1,141,323	3,333,194
Ⅱ　連結売上高(千円)	—	—	13,882,285
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.8	8.2	24.0

(注)　1　国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
　　2　本邦以外の区分に属する主な国又は地域
　　(1)　アジア諸国・・・・・香港、台湾、韓国、中国他
　　(2)　その他の地域・・・・米国、オランダ他
　　3　海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

１　報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは、当社が靴及び靴用資材の企画・販売、子会社のニッポンスリッパ㈱がスリッパ・日用品の企画・販売を行っております。

当社における靴の企画・販売については、国内販売と海外販売について、それぞれ独立した組織において活動を展開しており、さらに靴用資材の販売についても、独立した事業展開を行っております。

以上より、当社は、「国内シューズ事業」、「海外シューズ事業」、「資材事業」及び「スリッパ・日用品事業」の４つを報告セグメントとしております。

「国内シューズ事業」は、スポーツ及び一般シューズの企画・国内向け販売、「海外シューズ事業」は、スポーツシューズの企画・海外向け販売、「資材事業」は、資材メーカーから靴用資材の一部を購入し、国内外のシューズメーカーに販売しております。

さらに、「スリッパ・日用品事業」は、スリッパ及び日用品等の企画・販売を行っております。

２　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額
	国内シューズ事業	海外シューズ事業	資材事業	スリッパ・日用品事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,942,919	2,562,126	3,079,305	3,019,521	15,603,873	—	15,603,873
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	28,327	28,327	△28,327	—
計	6,942,919	2,562,126	3,079,305	3,047,849	15,632,201	△28,327	15,603,873
セグメント利益	493,268	190,860	121,690	394,371	1,200,191	△185,152	1,015,039

（注）１　セグメント利益の調整額△185,152千円は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。